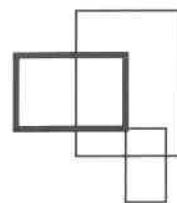


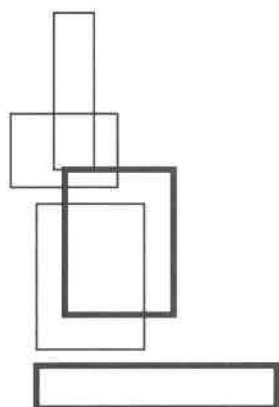


Matsuyama
Business
College

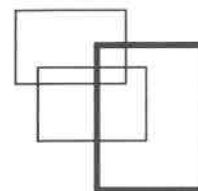


松山デザイナー専門学校

ファッションクリエイター学科



2022 年度
シラバス



ファッションクリエイターコース

名前

※一年間、各自保管すること

服飾家政専門課程 ファッションクリエイター学科 ファッションクリエイターコース

必修/ 選択	区分	科目名	種別	担当者	ファッションクリエイター コース1年		
					前期	後期	単位
必修	学科 共通	服飾造形Ⅰ	実習	大野他	150		5
		造形テクニック	実習	神崎	30		1
		マテリアル/テキスタイルⅠ	講義	神田	30		2
		西洋服飾史(全学科共通)	講義	大野	30		2
		クリエイションデザインⅠ	実習	野田	30		1
		ファッションドローイングⅠ(全学科共通)	実習	溪	30		1
		ファッション知識	実習	智内	30		1
		パターンメイキングⅠ-A	講義	大野	60		4
		色彩学Ⅰ(全学科共通)	講義	智内	30		2
		デジタル演習Ⅰ(全学科共通)	実習	井上	30		1
		服飾造形Ⅱ	実習	大野他		180	6
		マテリアル/テキスタイルⅡ	講義	神田		30	2
		パターンメイキングⅠ-B	講義	大野、野口		60	4
		色彩学Ⅱ(全学科共通)	講義	智内		30	2
		デジタル演習Ⅱ(全学科共通)	実習	野田		30	1
		業界研究Ⅰ	講義	特別講師		60	4
		マーケティング	講義	神田		30	2
必修科目合計					450	420	41
					870		41
選択		ヘアメイク実技・理論Ⅰ	実習	高岡	60		2
		ネイル実技・理論Ⅰ	実習	水本	60		2
		ヘアメイク実技・理論Ⅱ	実習	高岡		60	2
		ネイル実技・理論Ⅱ	実習	水本		60	2
選択科目 合計							
年間合計時間/単位数					870		41

- 1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。
- 2 選択科目は、小計欄に記載されている時間数及び単位数以上になるよう履修すること。
- 3 選択科目の時間数及び単位数は、履修開始時期にのみ記載し、次年度以降も履修可能とする。

授業科目	服飾造形Ⅰ		時間数 (コマ数)	150 (75)	単位数	5
担当教員 (資格等)	大野幸美、神田瑞穂、智内菜奈子		時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース1年	
授業科目の テーマと目的	パターンメイキングⅠ-A、Ⅰ-Bと連動し、衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。					
学習到達 目標	縫製の基本を身につけ、オリジナルデザインの作品制作に生かせるよう技術を習得する。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～5	基礎(5コマ)		ミシン、ロックミシン、道具の使い方			
6～20	部分縫い(15コマ)		ポケットの縫製方法(パッチ・フラップ・両玉・箱)、ファスナーの付け方			
21～35	タイトスカート(15コマ)		ファスナー、ベルト、裏地、スリットの作り方			
	発表		撮影、作品発表			
36～55	パンツ(20コマ)		ベルト、ポケット、持ち出しの作り方			
	発表		撮影、作品発表			
56～75	ブラウス(20コマ)		衿、袖、ボタンホールの作り方			
	発表		撮影、作品発表			
使用テキスト 教材・教具	ボディ、他 約30点					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	作品提出のスピード20%、レポート30%、作品50%の比率で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要		
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。					

授業科目	造形テクニック			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	神崎 禎市 (アトリエ・トキ)			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	新素材を使った商品開発と普及を行っている『アトリエ・トキ』と連携し、素材や副資材の正しい取り扱い方を実習で学び、商品企画や生産管理の現場で活かせる知識を身に付ける。						
学習到達 目標	アパレル素材や副資材の種類や扱い方を学び、適切な素材選びが出来る。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 日本バイリーン社のテクニカルアドバイザーとして日本ホビーショーで作品展示や新素材を使った商品開発に携わった経験を活かし素材についての専門的授業を実習で行う。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	素材と針、糸との関連性		素材別サンプル縫製				
3・4	素材と副資材の関連性		目的に合わせた副資材の使用方法				
5・6	特殊素材の活用法①		ツキ板の取り扱い方				
7・8	特殊素材の活用法②		溶けるシートとフィルムの取り扱い方				
9・10	特殊素材の活用法③		収縮シートの取り扱い方				
11・12	特殊素材の活用法④		特殊糸(畜光糸)の取り扱い方				
13～15	特殊素材の活用法⑤		SDGsの活用法				
使用テキスト 教材・教具	講師オリジナル教材						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	各課題サンプル縫製作品100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	マテリアル/テキスタイル I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	テキスタイルは、実用的なものからアーティスティックなものまで奥深く表現ができる。また、Tシャツやバッグ、生地など身近なものにも転用でき、「買っているもの」「使っているもの」から「創るもの」に変わっていく魅力を感じ、作品制作に活かす。						
学習到達 目標	テキスタイルの応用。						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	マテリアル: 素材		生地の種類(繊維・織物) 天然繊維・化学繊維・代表的な綿・麻・シルク・毛				
2	マテリアル: 異素材		組み合わせとデメリット				
3	マテリアル: 加工		エンボス・ボンディング				
4	マテリアル: 染色		先染め・後染め				
5・6	テキスタイル: 染色		制作: 染色 サンプル: 玉ねぎ・若藍・茄子・緑茶・麦茶・紅茶・ハイビスカスティ				
7・8	テキスタイル: スタンプ		制作: プラ板・スタンプ				
9	テキスタイル: シルクスクリーン		シルクスクリーンとは				
10			デザイン考案				
11			写真製版法: スクリーン張り				
12・13			写真製版法: 製版				
14・15			写真製版法: 刷り・落版				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献	テキスタイル用語辞典 (Textile Tree)						
成績評価の 方法・基準	ノート30%、作品70% (提出作品3点以上のデザイン性、ポートフォリオのまとめ方など) の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	西洋服飾史			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	水曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	日本・西洋の服飾の歴史や現代モードなどの服飾文化を通して、流行の変遷やトレンドを読み解く力を身につける。						
学習到達 目標	服飾の歴史を知り、これからのデザイン発想や販売・スタイリングに役立つ知識の習得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	服飾史概論		衣服とは、身近なシャツを解体し服の構造を知る				
3	古代・中世の服装		古代ギリシャ、古代ローマの服飾について				
4	〃		ビザンティン、ロマネスク、ゴシックの服飾について				
5・6	14世紀～17世紀		ルネサンス、バロック時代、ロココ時代の服飾について				
7	17世紀～19世紀		新古典主義、クリノリン、パッスル、S字シルエットなどの服飾について				
8	19世紀～近代		現代における洋服の変遷や代表的なデザイナーを知る				
9	〃		シャネル・ディオール				
10	ブランド調査レポート		それぞれブランドを選択し、歴史やルーツを辿る				
11	ブランド発表		作成したレポートをもとに、発表(1人5分)				
12	1960～1970年台		戦後のファッション～ヒッピースタイル				
13	1980～1990年台		バブル経済～ストリートファッション				
14	2000～2010年台		現代のトレンド				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	レポート50%、修了テスト50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	クリエイションデザインⅠ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	オリジナリティある発想や、表現方法ができるように発想方法を身に付ける。バランスや色彩感覚などトータルで考える力、見る力を養う。						
学習到達 目標	個性的でクリエイティブなデザインが考えられる力を修得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 アパレル企業での勤務経験、企業デザイナーとしての実績を生かし、デザインの発想の方法や、デザイン技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッションデザインのも と		エレガントとスポーティの意味、モダンとデコラティブの意味				
2	〃		テーマからのデザイン発想				
3	ファッションアイテムの知 識		スカートの知識と課題				
4	〃		シャツ・ブラウスの知識と課題、ハンガーイラスト				
5・6	〃		シルエットのバリエーションと課題				
7・8	〃		パンツ・デニムの知識と課題				
9・10	〃		ジャケットの知識と課題				
11・12	〃		コート of 知識と課題				
13	ブランディングデザイン		ブランディングとは				
14・15	〃		ブランディングデザイン：既存ブランドからのデザイン				
使用テキスト 教材・教具	スタイリングブック・プリント配布						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題60%、ブランディングデザイン40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッションドローイングⅠ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	湊 裕子			時間割	木曜 3,4限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	服のデザイン構造を表現できるように、人体のプロポーションを基礎から学び、それぞれのオリジナルデザインスタイルを表現。						
学習到達 目標	8等身のプロポーションが描けるようになり、服の構造や描き方を知る。						
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	プロポーション	デザイン画で必要な基本のプロポーションを描く					
2	プロポーション・手足、靴	デザイン画で必要な基本のプロポーションを描く(手足)					
3	プロポーション・顔	デザイン画で必要な基本のプロポーションを描く(顔)					
4	ヘアメイク	ヘアメイクデザイン画の描き方					
5・6	ポージング・ボディバランス	ポージングの取り方					
7・8	ハンガーイラスト	ハンガーイラストの描き方					
9	服のシルエット・動き (しわ)	しわの描き方、影の入れ方					
10	ペン入れ・絵具の塗り方 (影)	水彩絵の具、コピック等の着色方法					
11・12	柄表現	柄の描き方					
13	素材表現	素材の描き方					
14	模写	コレクション雑誌からデザインを模写する					
15	デザイン画作成	オリジナルデザイン画の作成					
使用テキスト 教材・教具	画用紙、ペン、他						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	アイデア発想力20%、課題40%、オリジナルデザイン画40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッション知識	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	智内 菜奈子	時間割	月曜 3限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年
授業科目の テーマと目的	ファッションの歴史とそれに基づく流行の変遷やアイテムの名称を学ぶ。				
学習到達 目標	各アイテムの知識習得と、それを基にデザインに落とし込めるようになる。				
担当教員の授 業に関わる実 務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	パーツ別アイテム	衿、袖の種類	ネックライン、カラー		
2	〃	〃	スリーブ、カフス		
3	〃	身頃の種類	シルエット、トップス		
4	〃	〃	ジャケット		
5	〃	スカートの種類	スカート		
6	〃	〃	ワンピース		
7	〃	パンツの種類	パンツ		
8	〃	アクセサリーの種類	靴、帽子		
9	〃	メンズ・キッズのアイテム名 称	スーツ、キッズアイテム		
10・11	副資材、装飾	副資材、装飾の名称	ボタン、ファスナー		
12	柄	柄の名称	チェック、ストライプ、ドット		
13	〃	〃	その他柄、和柄		
14	まとめ	オリジナルデザイン画作成	トレンドを調べて、デザイン画に落とし込む		
15	〃	〃	修了テスト		
使用テキスト 教材・教具	教員オリジナル教材				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	課題40%、アイデア発想力20%、作品評価40%の比率で評価する。				
履修上の 留意点	各授業の初めに小テストを行う		検定試験の 概要		
備考	ルーズリーフの準備				

授業科目	パターンメイキングⅠ-A			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	大野 幸美			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、パターン作成に関する基本の理解を目指す。						
学習到達 目標	パターンの基礎を理解したうえで、パターン展開ができるようになる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 オートクチュールでパタンナーとして実務経験のある教員が、製図の書き方について人体構造に基づき指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	イントロ	パターンとは、定規使い方、線の引き方、縮尺見方、採寸					
3・4	スカート原型	スカート概論、ダーツとは何か(一枚の紙で作り、成り立ちを学ぶ) 採寸、自分サイズ(実寸)スカート製図 〈造形運動〉					
5～7	スカートバリエーション	ダーツ展開 セミフレアスカート(2本ダーツ→1本)・フレアスカート(ダーツなし)					
8	パンツ原型	パンツ概論、パンツ原型製図					
9・10	パンツバリエーション	パンツ原型の展開 タイトパンツ、ワイドパンツ					
11・12	パンツ製図	自分サイズ(実寸)パンツ製図 〈造形運動〉					
13・14	身頃原型	身頃原型概論、原型作図(1/2・自分サイズ実寸) ※男子9号サイズ					
15～17	身頃ダーツバリエーシ ョン	ダーツ5種展開 サイド、ウエスト、ネック、ショルダー、AH					
18	袖原型	袖概論、袖山の高さの決め方、袖山のカーブの引き方					
19・20	袖バリエーション	袖の検証(製図とトワル組み) フレアスリーブ、ビショップスリーブ、シャツスリーブ					
21・22	衿バリエーション	衿概論 スタンドカラー、シャツカラー、フラットカラー					
23～27	ブラウス	シャツデザイン課題 デザイン決め、パターンの方向性決め					
28・29	ブラウス	自分サイズ(実寸)シャツ製図 〈造形運動〉					
30	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	パターンメイキングⅠ(学校法人 杉野学園出版部)、パターンメイキングⅡ(学校法人 杉野学園出版部) ドレメ式原型(学校法人 杉野学園出版部)、ドレメオリジナル原型 1/5 他 約9点						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	色彩学Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	智内 菜奈子			時間割	金曜 2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	色彩に関する基本的な理論を網羅するとともに、必要な箇所ではファッション写真を具体的に例示しながら、わかりやすく学ぶ。						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	カラーマップ作成	カラーマップ作成による色彩の役割					
2	〃	〃					
3	色彩のはたらき	生活における色彩のはたらき、色彩の役割					
4	色彩の体系	色の三属性、ヒュー&トーン					
5	色彩理論	色の成り立ち、光と色、三原色					
6・7	実技	絵の具、メイクパレットを使って色の混色方法を学ぶ					
8	色彩理論	混色、眼球の仕組み					
9	〃	網膜の仕組み					
10	色彩と心理	色彩と感情効果					
11	実技	抽象画コラージュ					
12～14	色相と配色	配色について					
15	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩〔Ⅰ〕(一般財団法人日本ファッション教育振興協会) ファッション色彩能力検定試験問題集3級(一般財団法人日本ファッション教育振興協会)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品40%、修了テスト60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2023年1月14日(土)		
備考	各自ノートを準備すること。						

授業科目	デジタル演習Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	井上 彩夏			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	業種や職種を問わず、多くの職場で使用されているWord・Excel・PowerPointの基本操作を学習する。						
学習到達 目標	基礎的なパソコン操作の習得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Word①	授業科目のテーマと目的、Wordの概要					
2・3	Word②	文書の作成、グラフィック機能、表の作成					
4	Word③	図形の作成／図形の挿入					
5	Word④	復習、総合問題					
6	確認テスト	実習による確認テスト(Word)					
7	Excel①	Excelの概要、データ入力、表の作成					
8・9	Excel②	グラフの作成、データの分析					
10	Excel③	復習、総合問題					
11	確認テスト	実習による確認テスト(Excel)					
12	PowerPoint①	PowerPointの概要、プレゼンテーションの作成					
13	PowerPoint②	スライドショーの実行、アニメーションの設定					
14	PowerPoint③	復習、総合問題					
15	確認テスト	実習による確認テスト(PowerPoint)					
使用テキスト 教材・教具	USB 32GB						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	Wordテスト30%、Excelテスト30%、PowerPointテスト40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	服飾造形Ⅱ			時間数 (コマ数)	180 (90)	単位数	6
担当教員 (資格等)	大野幸美、神田瑞穂、智内菜奈子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	パターンメイキングⅠ-A、Ⅰ-Bと連動し、衣服の形態、名称、着装、デザイン、素材などの知識と、実際の造形にかかわる人体の構造、計測の仕方、パターン製作、縫製用具、縫製方法、生地扱い方など、服作りに関する基本的な知識と技術の習得を目指す。						
学習到達 目標	縫製の基本を身につけ、オリジナルデザインの作品制作に生かせるよう技術を習得する。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダル衣装やイベント衣装の制作などオーダーメイドの服作りの経験を活かし、多種多様な服作りの知識と技術を指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～18	シャツ(18コマ)		縫い代立ち、衿、ポケット、前立て、カフス				
	発表		撮影、作品発表				
19～42	ワンピース(24コマ)		見返し、ファスナー				
	発表		撮影、作品発表				
43～90	ジャケット(48コマ)		衿、二枚袖、裏地 進級制作				
	発表		撮影、作品発表				
使用テキスト 教材・教具	ボディ、他 約30点						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品提出のスピード20%、レポート30%、作品50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	各自ノートを準備すること。 オリジナル作品を制作し、完成したらスタイリングして作品発表をする。						

授業科目	マテリアル/テキスタイルⅡ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	テキスタイルは、実用的なものからアーティスティックなものまで奥深く表現ができる。また、Tシャツやバッグ、生地など身近なものにも転用でき、「買っているもの」「使っているもの」から「創るもの」に変わっていく魅力を感じ、作品制作に活かす。						
学習到達 目標	テキスタイルの応用。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	マテリアル:織物		種類や特性				
2	マテリアル:レース		種類や特性				
3	マテリアル:柄		種類や特性				
4	テキスタイル:スクラッチ		制作:スクラッチアート				
5・6	テキスタイル:墨流し		制作:墨流し				
7～9	テキスタイル:ディテール ブック		制作:ディテールブック A4サイズ3種				
10	テキスタイル:裂き織り		裂き織りとは デザイン考案・準備(手で裂く/ハサミ・ロールカッターを使う)				
11・12			平織り 実習:経系張り				
13～15			平織り 実習:緯系				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献	テキスタイル用語辞典(Textile Tree)						
成績評価の 方法・基準	ノート30%、作品70%(提出作品3点以上のデザイン性、ポートフォリオのまとめ方など)の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	パターンメイキングⅠ-B		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	大野 幸美、野口 陽子		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年	
授業科目の テーマと目的	ファッション業界で活躍するパターンメーカーに必要な、パターン作成に関する基本の理解を目指す。					
学習到達 目標	パターンの基礎を理解したうえで、パターン展開ができるようになる。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 オートクチュールでパタンナーとして実務経験のある教員が、製図の書き方について人体構造に基づき指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1・2	身頃バリエーション	プリンセスライン(肩)、パネルライン(AH)、身返し				
3	ワンピース	デザイン決め、パターンの方向性決め				
4～6	ワンピース	自分サイズ(実寸)ワンピース製図〈造形連動〉				
7～10	テーラードジャケット	基本のテーラードジャケット、二枚袖				
11～14	テーラードジャケット	自分サイズ(実寸)ジャケット製図〈造形連動〉				
15・16	フードバリエーション	2枚仕立て、マチ、身返し				
17・18	袖バリエーション	ラグランスリーブ 袖山の復習、ドロップショルダー				
19・20	創作	フード、袖を用いて創作パターン				
21～29	ジャケット	アウター ※既製品からパターン取り				
30	テスト	修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	パターンメイキングⅠ 他2冊、ドレメオオリジナル原型 1/5 他 約11点					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題50%、修了テスト50%の比率で評価する。					
履修上の 留意点			検定試験の 概要			
備考						

授業科目	色彩学Ⅱ	時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	智内 菜奈子	時間割	金曜 2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年
授業科目の テーマと目的	商品企画やデザイン制作、接客において複数提案できる色彩スキルを身につける。				
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格。				
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】			
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度				
1	色彩技術	配色の基礎			
2	〃	色彩構成の基礎			
3	ファッション産業と色彩	ファッション産業における色彩の役割			
4	〃	企画段階の色彩、生産段階の色彩、流通段階の色彩			
5		染色について			
6		ビジュアルマーチャンダイジング(VP・PP・IP)			
7		照明の色と種類			
8～14	検定対策	過去問題集から模擬テスト、解答			
15	テスト	修了テスト			
使用テキスト 教材・教具	ファッション色彩〔Ⅰ〕、ファッション色彩能力検定試験問題集3級				
参考図書 参考文献					
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%、修了テスト30%、検定40%の比率で評価する。				
履修上の 留意点		検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2023年1月14日(土)		
備考	各自ノートを準備すること。				

授業科目	デジタル演習Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	野田 光晴			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	デザイン業務で必要不可欠なソフトであるAdobe IllustratorとPhotoshopの役割と基本操作を実践的な作業を通して学び、データ作成時のルールと知識を身につける。						
学習到達 目標	実際の現場で通用する技術と知識を身につける。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☐ 有 ☒ 無		【実務経験内容】				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Illustrator、Photoshopについて		Illustrator、Photoshopでできること				
2	Illustrator基本ツール		図形ツール、文字ツール、ペンツール				
3	〃		レイヤー、トリムマーク、ガイド、クリッピングマスク、パスファインダー				
4～7	演習課題		演習課題を行いながら、随時講義や制作物の添削を行う				
8	Photoshop基本ツール		トリミング、選択ツール、ブラシ、ぼかし				
9	〃		レイヤー、色調補正、画像解像度				
10～14	演習課題		演習課題を行いながら、随時講義や制作物の添削を行う				
15	テスト		修了テスト				
使用テキスト 教材・教具	USB 32GB						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	作品50%、修了テスト50%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	業界研究Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	4
担当教員 (資格等)	特別講師			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年		
授業科目の テーマと目的	各分野の第一線で活躍されている講師による特別授業。専門学校の授業が実社会でどのように結びついているのかなど、知識だけではなく多方面から取り組む授業を実施。						
学習到達 目標	主体性や、ファッションに対する創造性・興味・関心・意欲を向上させる。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 各分野の第一線で活躍されている講師陣による特別授業。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	舞台衣装		特別講義 1				
3・4	テキスタイル		特別講義 2				
5・6	ショップマスター		特別講義 3				
7・8	スタイリスト		特別講義 4				
9・10	デザイン		特別講義 5				
11・12	ポートフォリオ		特別講義 6				
13・14	コスチューム		特別講義 7				
15・16	メンズ		特別講義 8				
17・18	レディース		特別講義 9				
19・20	カメラ、映像		特別講義 10				
21・22	ライティング		特別講義 11				
23・24	スタイリスト		特別講義 12				
25・26	ブランド		特別講義 13				
27・28	経営		特別講義 14				
29・30	就職、キャリア		特別講義 15				
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題100%で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	マーケティング			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	神田 瑞穂			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・専攻・コース・学年)	ファッションデザイン専攻 2年・ファッションビジネス専攻 2年 ファッションクリエイターコース 1年・ショップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	ファッションブランドを立ち上げることを想定し、商品企画のために必要となるマーケティングを習得し、企画から販売までの総合理解と商品を販売展開する知識を習得する。						
学習到達 目標	実在するショップの課題、改善策を導き出し分析し、ブランド運営に於ける情報収集能力と分析能力を身につけることが出来る。また、マーケティングを理解しオリジナルブランドへと展開できる力を身につける。						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	☐ 有 ☒ 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～3	マーケティングの基礎		マーケティングの定義、市場機会の発見				
4～6	STPマーケティング		セグメンテーション・ターゲティング、ポジショニング				
7～9	マーケティングミックス		マーケティングの4Pと言われる製品戦略、価格戦略、流通戦略 プロモーション戦略を学ぶ				
10	ブランド研究		ブランド化にしていく為に必要なスキル、ビジネスモデルを考察				
11	ブランド調査と分析		アパレル市場の現状やブランド定義について				
12	発想のヒント・デザイン発想		柔軟な思考と発想方法				
13	マーチャндаイジングの 基礎知識		マーチャндаイジングの理解 市場細分化(マーケットセグメンテーション)他				
14	ブランド企画		商品構成の検討、生産枚数、上代設定				
15	ブランド企画・合評		ブランド名・コンセプト決定				
使用テキスト 教材・教具	マーケティング用語図鑑 改訂版(新星出版社)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト40%、レポート提出60%の比率で評価する。						
履修上の 留意点	授業の内容を丁寧に復習し、次回の授業 に向けて予習をすること。			検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅰ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	高岡 笑子 (track time)			時間割	火曜 3,4限	開講期	前期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年 ショップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする。						
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分仕上げ。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	スキンケア理論・メイクアップ理論		道具の説明、メイクアップの理論について説明				
2	クレンジング		ポイントクレンジング～フルクレンジング、整肌について				
3	ベースメイク		ファンデーション、コンシーラ、パウダーについて				
4	眉・凸凹について		眉の描き方、ハイライト、シャドーについて				
5～10	ポイントメイク		アイメイク、チーク、リップなどのポイントメイク基礎				
11～15	ヘア基礎		ブロッキング、コーミング、ピン打ち基礎				
16～19	アップ基礎		逆毛理論				
20～23	カールの作り方		コテの使いかたなど				
24～27	編みこみ		いろいろなパターンの編みこみ				
28～30	ヘアメイク作品づくり		基礎を復習しながらの作品制作				
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%の比率で評価する。						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	履修者は教材代として、¥27,357自己負担となる。						

授業科目	ネイル実技・理論Ⅰ		時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	水本 信子 (Nail&Aroma リヤド)		時間割	月曜 1,2限	開講期	前期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年 ショップマスターコース 1年	
授業科目の テーマと目的	日本ネイリスト協会本部認定講師のネイリストがオーナーを務める『Nail&Aroma リヤド』と連携し、ネイルに関する基礎的な理論と技術を身に付け、JNECネイリスト技能検定試験3級、JNAジェルネイル技能検定試験初級の取得を目指す。					
学習到達 目標	JNECネイリスト技能検定試験3級・JNAジェルネイル技能検定試験 初級取得。					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ネイルサロンでの施術・接客、ネイル検定試験の試験官経験のある講師が、その経験を活かし、ネイルの知識や技術、検定試験対策などを指導する。				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1・2	プレマニキュア、カットスタイル		テーブルセッティング、用具用材、カットスタイルについて、理論、実技			
3・4	爪の構造と働き、ネイルケア		理論、ネイルケア(ファイリング・カラーリング・ポリッシュオフ)			
5・6	化粧品学、ネイルケア		理論、ネイルケア(キューティクルクリーン)			
7・8	消毒法、ネイルケア		理論・ネイルケア(相モデル)			
9・10	歴史、技術体系、ネイルケア		理論、ネイルケア(相モデル)			
11・12	爪の病気とトラブル ネイルケア		理論、ネイルケア(相モデル)			
13・14	皮膚科学、生理解剖学 ネイルケア		理論、ネイルケア(相モデル)			
15・16	色彩理論、ネイルアート		理論、ネイルアート			
17～24	3級検定対策		ネイルケア、ネイルアート			
25～30	ジェルネイル		ジェルネイル理論、実技			
使用テキスト 教材・教具	JNAテクニカルシステム ベーシック(NPO法人日本ネイリスト協会) ネイルケア用具用材、ジェルネイル用具用材					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題30%、理論模擬テスト30%、検定試験40%の比率で評価する。					
履修上の 留意点				検定試験の 概要	JNECネイリスト技能検定試験3級:2022年7月17日(日) JNAジェルネイル技能検定初級:2022年10月受験予定	
備考	履修者は教材代(3級¥25,458・ジェル初級¥4,858)と検定料(3級¥6,800・ジェル初級¥9,900)が自己負担となる。					

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	高岡 笑子 (track time)			時間割	火曜 3,4限	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年 ショップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする。						
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分仕上げ。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～5	テーマ別作品づくり	テーマを決めてメイクのみ相モデルで作品を作る					
6～10	テーマ別作品づくり	テーマを決めてヘアのみ相モデルで作品を作る					
11～15	テーマ別作品づくり	ヘアメイクトータルでの作品づくり					
16～18	ヘアアレンジ	アップスタイルのしっかりしたものを作る					
19～23	メイクアレンジ	ショー用のヘアメイク					
24～28	ショー用ヘアメイクアレン ジ	時間を決めて丁寧に作品を作る					
29・30	作品作り	進級にあたっての作品制作					
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%、デザイン性25%、テクニック25%、スピード25%の比率で評価する。						
履修上の 留意点	ヘアメイク実技・理論Ⅰ 修了必須			検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ネイル実技・理論Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	水本 信子 (Nail&Aroma リヤド)			時間割	月曜 1,2限	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイターコース 1年 ショップマスターコース 1年		
授業科目の テーマと目的	日本ネイリスト協会本部認定講師のネイリストがオーナーを務める『Nail&Aroma リヤド』と連携し、プロレベルのネイル理論と技術を身に付け、JNAジェルネイル技能検定試験 初級・中級の取得を目指す。						
学習到達 目標	JNAジェルネイル技能検定試験 初級・中級取得。						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	☒ 有 ☐ 無	【実務経験内容】 ネイルサロンでの施術・接客、ネイル検定試験の試験官経験のある講師が、その経験を活かし、ネイルの知識や技術、検定試験対策などを指導する。					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1・2	ジェルネイル初級	実技・筆記試験対策					
3・4	検定試験	JNAジェルネイル技能検定試験 初級					
5・6	ジェルネイル	ジェルグラデーション					
7・8		ジェルフレンチ					
9～12		ジェルスカルプ					
13～22		ジェルネイル中級	実技・筆記試験対策(相モデルorハンド)				
23～28	ネイルケア・グラデーション・フレンチ・ジェルオフ・ジェルスカルプ						
29・30	検定試験	JNAジェルネイル技能検定試験 中級					
使用テキスト 教材・教具	JNAテクニカルシステム ベーシック、ジェルネイル用具用材						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題30%、理論理解度30%、検定試験40%の比率で評価する。						
履修上の 留意点	ネイル実技・理論Ⅰ 修了必須			検定試験の 概要	JNAジェルネイル技能検定初級:2022年10月受験予定 JNAジェルネイル技能検定中級:2023年 1月受験予定		
備考	履修者は教材代(ジェル中級¥4,963)と検定料(ジェル中級¥13,200)と試験会場までの交通費が自己負担となる。松山か高松にて受験予定。						